

一般社団法人関西地質調査業協会 第12回定時総会開催報告

総務財經委員会

一般社団法人関西地質調査業協会は、令和8年5月18日(月)に新大阪ワシントンホテルプラザ2階「老松・若竹の間」で第12回定時総会を開催した。会員総数68社に対して、委任状を含め55社の出席により、総会開催の定足数を満たしていることを確認した。

総会では小宮理事長が議長を務め、1号議案について大久保副理事長による「令和7年度事業経過報告」、各委員会活動報告として高松理事による「総務財經委員会報告」、甲斐理事による「広報委員会報告」、岩瀬理事による「技術委員会および防災委員会の各活動報告」を行った。2号議案については小林理事による「令和7年度決算報告」、大村監事による「監査報告」が行われ、質疑応答を経て採決が行われ、1号議案、2号議案は承認された。

引き続き、3号議案として高松理事より「会費規定の改定」の説明が行われた。出席者から「会費改定はやむを得ないと思うが、協会員全体にメリットある活動をお願いする」との意見が出され、小宮理事長より「協会のメリットを考えた協会活動を進める」との回答の上、3号議案の採決が行われ、承認された。また、4号議案「令和8年度事業計画案」、5号議案「令和8年度事業予算案」について大久保副理事長、小林理事から報告され、出席者全員の賛成が得られ、承認された。

その後行われた表彰式では、令和7年度の協会3号表彰として、技術委員退任の板谷吉章氏(復建調査設計株式会社大阪支社)、飯田誠氏(川崎地質株式会社西日本支社)、菅井知宏氏(株式会社関西土木技術センター)、総務財經委員10年歴任の長谷川洋三氏(川崎地質株式会社西日本支社)の4名が小宮理事長より表彰され、賞状と記念品が授与され、第12回定時総会を終了した。

< 第12回定時総会 >

- 日 時 : 令和8年5月18日(月) 14:15 ~ 16:00
場 所 : 新大阪ワシントンホテルプラザ 2階 老松・若竹の間
出席者 : 協会総数68社の内、出席会員39社、委任状提出16社)
議 案 : 1号議案 令和7年度事業経過報告
2号議案 令和7年度決算報告及び監査報告
3号議案 会費規定の改定
4号議案 令和8年度事業計画(案)
5号議案 令和8年度事業予算(案)



Ph-1 総会会場案内



Ph-2 小宮理事長挨拶



Ph-3 総会会場風景

【議案説明】



Ph-4 大久保副理事長
令和7年度事業経過報告



Ph-5 高松理事
総務財經委員会活動報告



Ph-6 甲斐理事
広報委員会活動報告



Ph-7 岩瀬理事
技術委員会及び防災委員会活動報告



Ph-8 小林理事
令和7年度決算報告



Ph-9 大村監事
令和7年度会計鑑査報告



Ph-10 高松理事
会費規定の改定



Ph-11 大久保副理事長
令和8年度事業計画案



Ph-12 小林理事
令和8年度事業予算案

<協会表彰>

委員会活動での委員歴任功労者として、技術委員10年で退任の板谷吉章氏（復建調査設計株式会社大阪支社）技術委員9年で退任の飯田誠氏（川崎地質株式会社西日本支社）技術委員8年で退任の菅井知宏氏（株式会社関西土木技術センター）の3名が功労者表彰（協会規定3号1項表彰：委員会委員を8年以上で退任）を授与された。また総務財經委員歴任10年の長谷川洋三氏（川崎地質株式会社西日本支社）が功労者表彰（協会規定3号2項表彰：委員会委員を10年歴任）を授与された。受賞者には、小宮理事長より表彰状と記念品が贈呈され、表彰者を代表して長谷川洋三氏が謝辞を述べられた。



Ph-13 協会表彰写真



Ph-14 協会表彰者集合写真



Ph-15 長谷川洋三氏謝辞

< 講演会 >

定時総会に引き続き同会場において、立命館大学理工学部環境都市工学科教授の小林泰三氏を講師にお迎えし、「月面基地建設に向けた挑戦 ～地盤工学が切り拓く宇宙開発～」と題した講演会が開催された。ご講演では、アポロ計画をはじめとする月面探査の歴史から、現在のアルテミス計画に至る宇宙開発の最先端の話題、さらには小林氏がこれまで携わってきた宇宙開発における代表的な実験について解説いただいた。

また、立命館大学が JAXA 公募の令和 6 年度「宇宙戦略基金事業 (SX 研究開発拠点：月面探査・利用を産業化するための宇宙機器開発・人材育成拠点)」に採択されたことに触れ、地盤調査の専門組織である当協会と「月面コアサンプラー」の開発において、協力して研究を進めている旨についても紹介された。



Ph-16 岩瀬理事による講師紹介



Ph-17 小林泰三先生によるご講演



Ph-18 質疑応答

< 懇親会 >

定時総会、講演会に引き続き、国土交通省近畿地方整備局関係者をはじめ、多くの来賓の方々をお招きして、懇親会を新大阪ワシントンホテルプラザ 2 階の紅梅・桜の間で開催した。

冒頭、小宮理事長より、近畿地方整備局をはじめ各種団体に対する日頃のご指導、ご支援のお礼、また地質調査業の課題に対する取り組みを述べられた。

引き続き、2025 年 7 月の参院選でご当選された見坂茂範様より、ビデオメッセージを頂いた。メッセージでは、地質調査業務の課題が山積する中、受注産業である地質調査業では仕事量を確保することが重要であり、利益の出る産業となるよう政治の力で尽力するとの力強いお言葉を頂いた。

来賓を代表して、国土交通省近畿地方整備局の川尻竜也統括防災官よりご祝辞を頂き、現場での環境改善、業務の平準化、DX の推進等、予算確保の必要性についてお話を頂いた。その後、見坂茂範参議院委員、全国地質調査業協会連合会田中会長からの祝電が披露され、全国地質調査業協会連合会の大西有三様に乾杯のご発声をいただき、懇親会を開宴した。また公務によりご到着が遅れた国土交通省近畿地方整備局齋藤博之局長により、行政支援への御礼、設備単価の引き上げやインフラ整備には事業費が必要であり、公共予算をしっかりと確保し、国民のために還元するとのお言葉を頂いた。

会場には、28 名の来賓の方々をはじめ、合計 116 名の関係者が集い、行政や会員同士の親睦と情報交換が活発に行われ、有意義な歓談の場となった。

最後に大久保副理事長による閉会の挨拶、三本締めで、関西地質調査業協会第 12 回定時総会、懇親会を無事閉会した。

< 第 12 回関西地質調査業協会定時総会 懇親会 >

日 時 : 令和 8 年 5 月 18 日 (月) 17:30 ~ 19:30

場 所 : 新大阪ワシントンホテルプラザ 2 階 紅梅・桜の間

参加人員 : 来賓 28 名、協会関係者 88 名、計 116 名

本年度ご出席頂きました来賓の方々は以下の通りです。

自由民主党参議院委員	見坂茂範 秘書	玉村 貴 様
国土交通省近畿地方整備局	局長	齋藤 博之 様
同	統括防災官	川尻 竜也 様
同	広報広聴対策官	谷口 昭一 様
同	企画部技術調整管理官	青山 淳 様
同	企画部技術開発調整官	吉田 公則 様
同	企画部技術管理課長	今井 祐三 様
同	企画部技術調査課長	井上 貴嗣 様
同	企画部技術管理課長補佐	田中 富博 様
和歌山県県土整備部	技監	上柏 卓弥 様
同	技術調査課長	貴志 浩年 様
京都大学	名誉教授	大津 宏康 様
神戸大学工学部	名誉教授	澁谷 啓 様
大阪公立大学都市科学・防災研究センター	特任教授	大島 昭彦 様
立命館大学理工学部環境都市工学科	教授	小林 泰三 様
西日本高速道路株式会社関西支社	建設事業部建設統括課長	臼井 宏至 様

一般社団法人全国地質調査業協会連合会	理事	大西	有三	様
一般財団法人GRI財団	代表理事	三村	衛	様
公益社団法人地盤工学会関西支部	支部長	勝見	武	様
一般社団法人関西圏地盤情報運営機構	代表理事	肥後	陽介	様
一般社団法人建設コンサルタンツ協会近畿支部	支部長	白水	靖郎	様
協同組合関西地盤環境研究センター	専務理事	八谷	誠	様
同	センター長	松川	尚史	様
税理士法人エール会計	監査部長	岩田	安史	様
北埜司法書士事務所	司法書士	北埜	真奈美	様
株式会社日刊建設工業新聞社大阪支社	支社長	泉	隆	様
同	支社長代理	大西	秀明	様
株式会社建通新聞社大阪支社	大阪支局課長	曾根	賢司	様

【懇親会】



Ph-19 懇親会会場案内



Ph-20 小宮理事長挨拶



Ph-21 見坂参院議員ビデオメッセージ



Ph-22 川尻統括防災官ご祝辞



Ph-23 来賓紹介



Ph-24 大西有三様による乾杯ご発声



Ph-25 齋藤近畿地方整備局長ご祝辞



Ph-26 歓談中の会場



Ph-27 大久保副理事長閉会挨拶